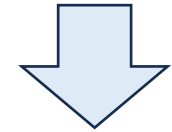


データの蓄積で効率的な対策を実施



過去の移動ルートの分析により、「次はサルの群れがどこに移動するのか？」を高い精度で予測



実際の位置情報を地域住民がリアルタイムに共有 (LINEやサライチの通知メール)



〈追い払い〉

被害発生を未然に防ぐために先回りして追い払いを実施

〈防除〉

電気柵の通電状況を確認

〈捕獲〉

捕獲檻への集中的な誘引実施

【追い払い対策】発信機による群れの位置把握

① 捕獲したメスザルに首輪型の電波発信機を装着



- ・現在は3基の発信機が稼働中
- ・対象となるサル群れ（綾部E群）は調査の結果30～40頭で推移している。

② 地域住民が群れを追跡して位置を把握



- ・地域住民に貸与している受信機を用いてサルからの電波を追跡する。
- ・綾部E群は綾部市・京丹波町・福知山市（川合地区）を広域で移動するため追跡も広範囲にわたる。

③ グループLINEで位置情報をリアルタイム共有



- ・LINEグループモンキー「キャッチプロジェクト」で群れの位置情報を共有。グループメンバーには他市町の関係者も含まれており、現在46人で運用。

←集落センターにサルの位置情報を示すサルアラート看板を設置して、注意喚起も行う！

④ サルイチにも情報共有し、周辺住民にメール通知



出典：NPO法人里地里山問題研究所HP

【追い払い対策】 煙火による組織的な追い払い



軽トラに車載アンテナと受信機を載せて、サルの反応がある地区を特定し、群れの位置を把握！⇒ リアルタイムに共有

サルの群れが視認できた場合は、動物駆逐用の煙火を使って組織的に追い払い！
(煙火消費保安講習の費用は協議会が負担し、自己負担なし)

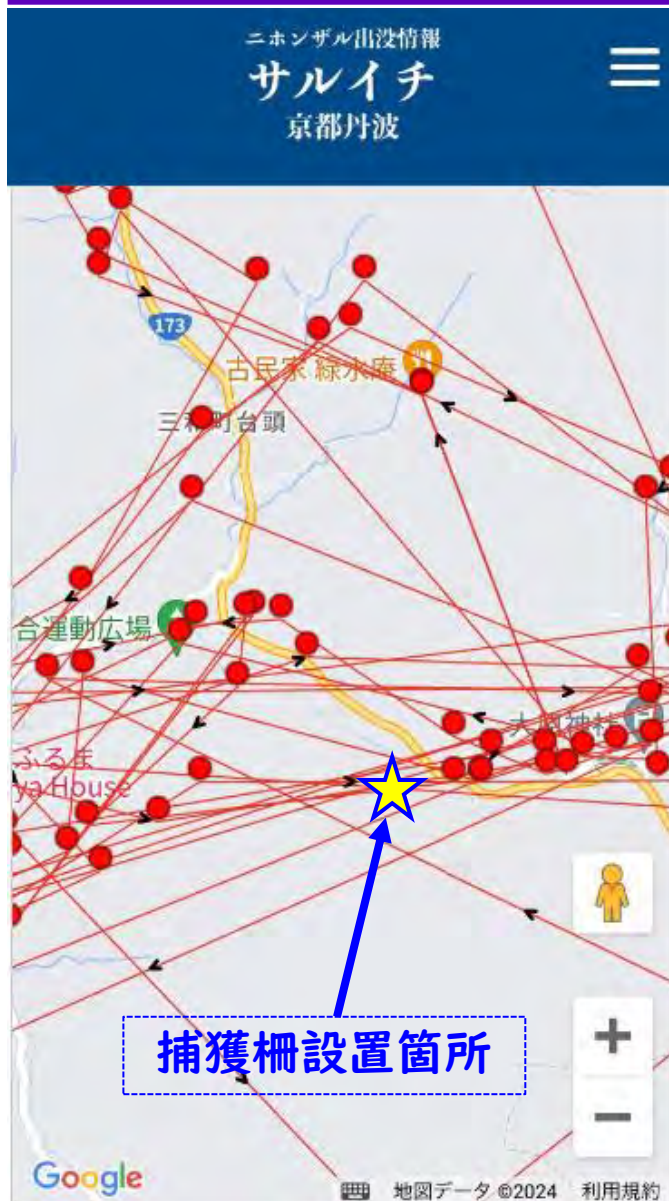


【防除対策】 おじろ用心棒の活用



- 平成24年頃からおじろ用心棒を活用した防除を実施
- 令和4年には電気柵の電圧遠隔監視システムを試験導入し、ICT機器を活用した管理の効率化も検討。

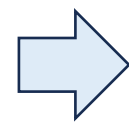
【捕獲対策】捕獲檻・捕獲柵の効率的な運用



課題

- 毎日漫然と餌撒きを行っても、小動物に食べられたり、腐ったりしてしまうため管理のモチベーションが継続できず、餌の経費も増加
- 群れが近づいたタイミングで檻の中に餌が無いということも…

過去の蓄積データから、今後の移動ルートを予測



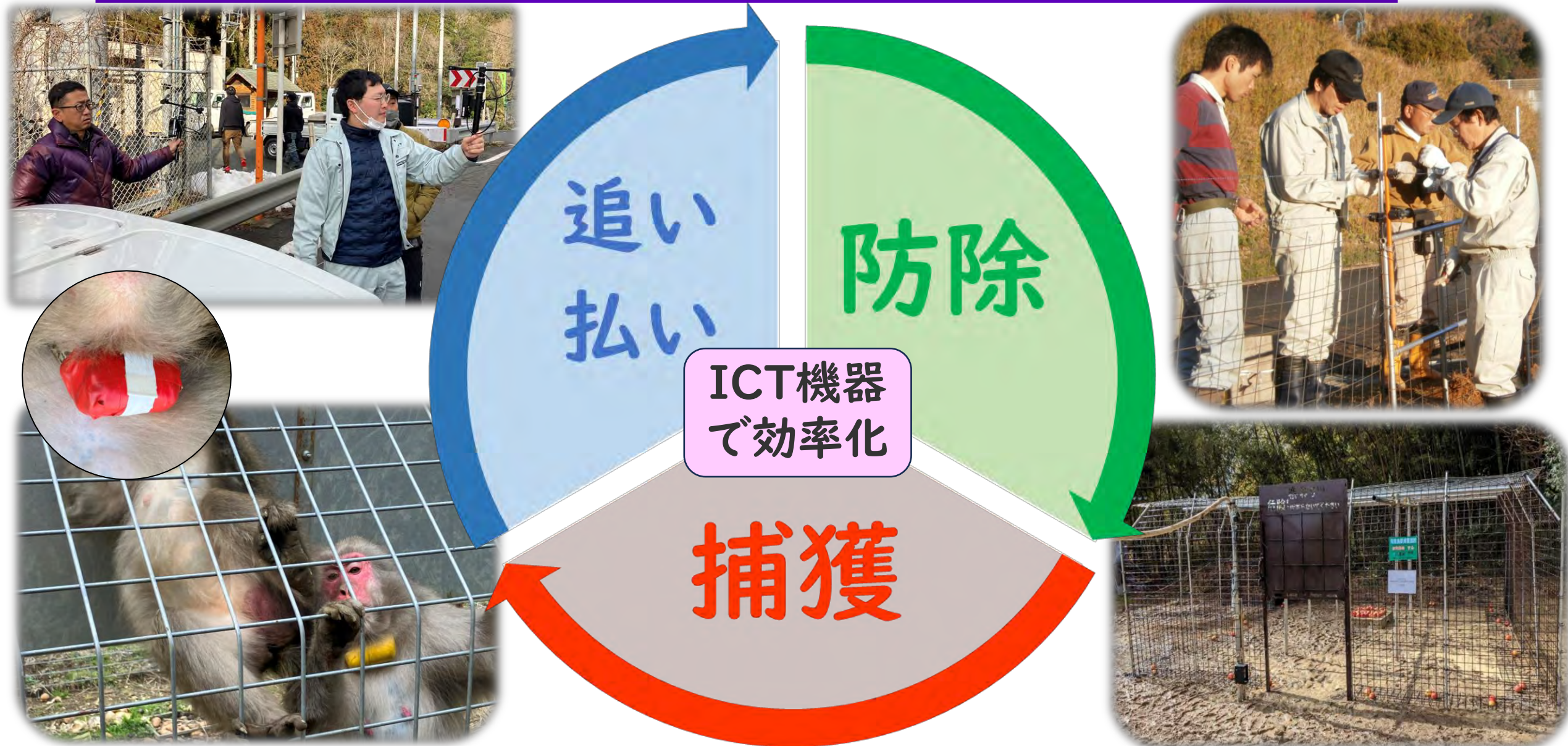
捕獲檻・捕獲柵の付近をサル群れが移動するタイミングで、餌による集中的な誘引を実施し、効率的に捕獲！



地域住民によるわな管理のモチベーションも向上！



地域住民が主体となって対策を継続



楽しい獣害対策で地域を活性化！



里山体験



放任果樹対策



地域活性化

○川合地域で廃校になった小学校を、現在「福知山里キャンプ」という名称でキャンプ場として活用中。

○キャンプ場利用者に対して、里山体験として、放置柿のもぎ取りイベントを実施。
京阪神の都市部から来場した家族連れを中心に人気のプログラムに！



楽しくないと獣害対策は続かない！

キャンプ場利用者 : 都会では出来ない経験が出来て楽しい！

果樹の持ち主 : 大変だった果樹回収の手間が減って嬉しい！

地域の住民 : サルやクマの誘引物が無くなってありがたい！

WinーWinーWinで三方良しの取り組み

ご清聴ありがとうございました！

「川合がいつまでも川合であるために」
**を合言葉に、今後も地域づくりの一つの
手段として獣害対策に取り組んで参ります！**

川合地域農場づくり協議会